

慶應義塾大学病院 産科（周産期医療／生殖医療）の診療について

現在当院では、新型コロナウイルスの国内感染拡大に伴い、患者様の安全を第一に考え、業務の一部制限を行っております。大学病院の HP (<http://www.hosp.keio.ac.jp>) 掲載のほかに、当科の情報をお伝えいたします。

一日も早く、再び皆さまのお力になれるよう、できる限りの対応をして参りますので、ご不安な思い、ご迷惑をおかけしてしまい大変申しわけございませんが、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。診療再開を含めました私どもの対応の変化につきましては、この場から随時アナウンスさせていただきます。

【周産期医療】3E 外来／6C 病棟

- # 初診の受付を停止しております。
- # 間隔を調整しながら、通院妊婦さんの検診は行っております
- # 分娩管理も継続しております

(2020/4/9 産科診療部長 田中 守)

【生殖医療】3H 外来

- # 初診の受付を停止しております。
- # 再診予約の延期をお勧めしております
(当院電話回線がパンクの状態です。外来担当医から個別にお電話させていただいております：回線の都合から「番号非通知」でのご連絡となっております)

皆さまがたが抱えておられるご不安を承知しているつもりでおりますが、以下の【背景】も鑑み、皆さまの健康、安全を第一と考え、すべての不妊治療（タイミング療法、人工授精、採卵、胚移植）を当面延期とさせて頂いております。また月経のトラブルや不育症など幅広いご相談でも来院いただいておりますが、皆さまの外出通院のリスクを鑑みて、そちらについても当面の診療を見合わせております。

【背景】

日本での新型コロナウイルス感染症の拡大に際して、4月1日に日本生殖医学会より「新型コロナウイルス感染に対する声明」が出され、妊婦が新型コロナウイルスへ感染した場合の胎児および妊婦のリスクを危惧し、治療の延期を勧める内容です。アメリカ生殖医療学会（ASRM）からも同様の声明が出されておりますが、1-2ヶ月の治療延期が妊孕性を損ねるとする事実は得られていない、ともされております。

(2020/4/9 リプロダクションセンター長 浜谷敏生)